

一般社団法人 堺高石青年会議所 2026年度 國際地域推進室

文化を紡ぐIRODORI国際委員会

委員長 羽島 優翔

設置背景	グローバル社会の進展に伴い、国際的な価値観の多様化が顕著となり、堺市・高石市においても地域課題への対応力強化が喫緊の課題となっています。よりよい国際社会を実現するには、地域に深く根ざした活動基盤と、国際的な視野を兼ね備えた人財の育成が不可欠です。それゆえに、将来の地域リーダーを育成し、組織として進化を遂げるための体制強化が求められています。
設置目的	■国際的な価値観の多様化に対応することで、地域に根差した活動基盤と国際的な視野を持つ地域リーダーの育成を目的とします。 組織体制の強化を通じて持続可能な国際社会の発展を実現します。
活動概要	①京都会議推進計画（1月） ②2026JCI ASPAC新潟大会推進計画及びブース出展（6月） ③泉州地域青年会議所合同例会の支援（6月） ④近畿地区大会和歌山大会でのブース出展（9月） ⑤大納会2部の設営及び運営（12月） ⑥国外での災害発生時に支援活動の実施 ⑦海外姉妹及び友好JCとの渉外支援 ⑧年間を通じた会員拡大運動の主導及び実施
K G I	①参加者の100%が新たな気づきや学びを得た状態。 ②60人以上メンバーが大会に参加し、参加したメンバー100%の国際意識が高まった状態 ③参加者の100%が泉州地域の一体感と次年度以降への気運が高まった状態 ④ブースに立ち寄った方100%が来訪に対する意欲が高まった状態 ⑤参加者全員が出席し、わがまちに寄与する人財となった状態 ⑥携わったメンバーの100%が社会貢献の必要さを実感した状態 ⑦参加したメンバー100%が高い国際意識を持った状態 ⑧メンバーの100%が拡大活動の重要性を理解した状態
政策手法	①メンバーの自己成長を促すために、京都会議への参加を促進し、日本JCの運動発信とメンバーとの交流の機会を創出することで、JC運動への理解を深めます。 ②国際社会に適応する組織を実現するために、堺市・高石市の魅力をASPACナルナイトやジャパンナイトのブースを通じて発信し、地域の価値を世界へ広げ、2026 JCI ASPAC新潟大会への参加意識を高めることで、国際意識を持ったリーダーを創造します。 ③JCが泉州地域の発展に寄与するために、各LOM間の連携を強化し信頼関係が深まる交流を促すことで、次年度以降もより強固な組織へと向上します。 ④堺市・高石市の魅力を伝播するために、近畿地区大会和歌山大会で堺市・高石市の新たな価値や魅力を創造し発信することで、心を動かしわがまちへの来訪意欲を高めます。 ⑤参加者全員がまちのさらなる発展にこれからも寄与し続けるために、これまでの多大な功績を讃え感謝と敬意を表すことで、地域のリーダーとしての自覚を高め、より主体的に地域貢献への活動が強まります。 ⑥災害で被害を受けた人々の生活や救護を義援金活動を通じて支援するために、LOMメンバーが街頭にて募金活動を行い市民に協力してもらうことで、より大きな社会貢献の広がりを生むまちへと発展します。 ⑦海外姉妹及び友好JCとの関係を強固にするために、多くのひとが享受できる渉外支援を行うことで、持続的に共存共栄します。 ⑧組織を次世代へ継承するために、共に創る拡大活動を全体で行うことで、新入会
パートナー	①日本JC、京都JC ②日本JC ③泉州地域各地青年会議所 ④近畿地区協議会 ⑤堺高石JCシニア・クラブ ⑥堺市・高石市民 ⑦JCI Honolulu JCI TanTsu ⑧堺高石JCシニア・クラブ